社会貢献の歴史とこれからの事業展開

貢献領域拡大の軌跡

マブチモーターは、小型直流モーターに特化した事業を展開し、小型・軽量・高効率化に関する技術的な強みを有しています。当社は、玩具・模型用から事業を始め、1960年代より実用向けモーターに、1970年代から自動車電装機器用モーターに参入しました。時代と社会の変化に応じて、標準化戦略によってもたらされる高い品質、圧倒的なコスト競争力及び安定した供給力を強みに、当社の貢献領域を拡大させ、用途市場別の売上構成比も変化してきました。

1950年代	玩具業界に革命をもたらしたモーター		Fタイプモーター
1960年	実用向けモーターへの進出		テープレコーダー用モーター
1975年	音響・映像機器用モーターの市場を席巻 ミラー用モーターを発売し、自動車電装分野に進出		電子ガバナーモーター
1981年	用途の多様化が進展		ドアロック用モーター
1989年	自動車電装機器用途の販売拡大		パワーウインドウ用モーター
2019年	ブラシレスモーターへの注力		インナーローター型ブラシレスモーター
現在	3つのM領域への注力 ユニット製品の開発・販売	移動体用モーター 協調ロボット用モーター	医療機器用モーター

3つのM領域における事業拡大

持続的な成長と、より付加価値の高い製品の提供による事業ポートフォリオの進化を実現するため、当社製品の小型・軽量・高効率といった特長や、リーズナブルな価格と安定した供給力といった強みを活かせる領域として、電動化によるCO_2排出量削減や人手不足の解消に貢献する「Mobility（モビリティ）」、「Machinery（マシーナリー）」、また、人々の健康に貢献する「Medical（メディカル）」を3つのM領域として定義し、成長分野としてその取り組みを加速させています。従来のブラシ付モーターによる用途の拡大に加え、ユニット対応を含むソリューション提案や各用途に適したブラシレスモーター及びステッピングモーターの開発と販売を推進しています。

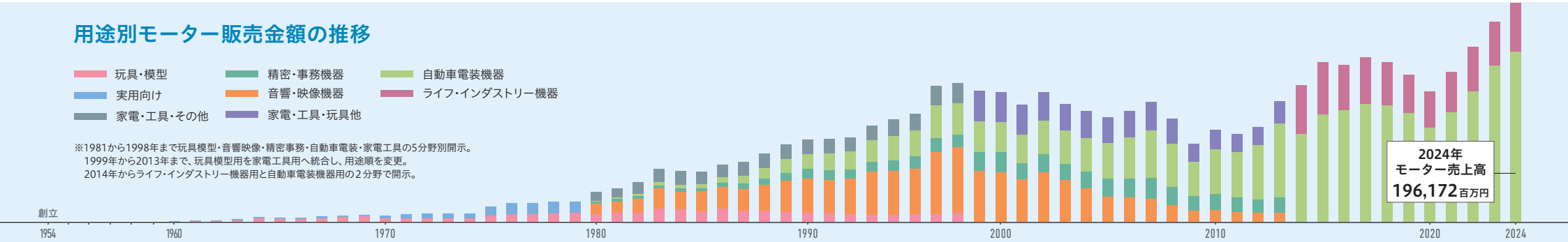
Mobility
モビリティ

モビリティ領域では、EV、AGV（無人搬送車）、階段昇降機、アシスト自転車やシニアカー等の広く普及している小型モビリティ向けに当社の移動体用モーターの販売を拡大します。

Machinery
マシーナリー

マシーナリー領域では、生産現場において、当社モーターを交流電源で動作させるコントローラーを導入することでファクトリーオートメーション向けの販売を拡大します。また、産業用パワーツールに、マブチエレクトロマグの超高速回転モーターを拡販します。さらに、当社の移動体用ユニットの防水性を活かし、農機具や芝刈り機用等の販売も拡大していきます。

Medical
メディカル

メディカル領域では、マブチオーケンとの共同開発による小型ポンプユニット製品や、マブチエレクトロマグとの共同開発による人工呼吸器用モーターの新製品開発及び拡販を進めます。また、グループ会社と販路を双方に活用し、外科手術向けパワーツール用モーターの拡販も推進します。

用途別モーター販売金額の推移